

# 聴きます その声 伝えます!

日頃よりご支援いただき  
ありがとうございます。  
市政報告をお送りいたします。



▲下比奈知  
名居神社の獅子舞



紫陽花の美しい季節から、太陽の輝く季節へと移り変わりました。月日の流れは早いもので、市議会議員にならせていただき、早4回の議会を終え、間もなく1年が経とうとしています。

日々、増える市民の皆様からの声を聴かせていただき、その声をしっかりと行政や現場にお伝えをさせていただいている毎日ですが、皆様はいかがお過ごしでしょうか？

仕事柄、いろんな情報が集まってきます。今回も、議会内で質問させていただいたことを中心に、皆様を知っていただきたい情報も載せながら作成しました。ご覧いただければ、幸いです。

第366  
回定例会

## 行き届いた 子育て支援について

6月11日～29日開催  
本会議・一般質問より

名張市の現状は、「産み育てるにやさしいまち名張」の実現に向けた取り組みとして「名張版ネウボラ事業」がある。女性の社会進出を促進し、安心して子どもを育てることができるよう、病児・病後児や早朝・夜間等の預かり、宿泊を伴う預かり等を行うほか、家庭的保育事業や事業所内保育事業、小規模保育事業の推進等、保育施設の増改築などによる受け入れ枠の拡大を図るなど、待機児童対策にも努めている。

**Q. 病児・病後児保育の現状は？  
また、利用に際しての手続きの煩雑さは無いのか？**  
(当日8時以降の申し込み・基本的には医師連絡票持参。)

**A.** 昨年4月に名張市が民間診療所「みらいのこどもクリニック」に委託して開設した病児病後児保育室(利用定員3名)の初年度の利用者数は122人で、事業として採算が取れるラインの200人を昨年度は下回った。

今年度は、4、5月の2ヶ月で、前年同期に比べて、3.7倍に増えている。利用者が200人を超えれば、委託料と運営費の採算が合う。

医師連絡票は、預かる子どもの体調を知るのに欠かせないので継続するが、実施施設併設の小児科を受診の場合は医師連絡票は不要であり、活用していただきたい。

**Q. ファミリーサポート事業の利用件数・利用状況は？**

**A.** 平成26年度の利用件数は、合計で375件。そのうち基本事業が319件で、保育施設等までの送迎やその他の支援(自宅へ行っての支援等)が9割を占めている。

病児・緊急対応強化モデル事業は56件で、内訳は、保育施設や病児病後児保育施設と自宅等の間の送迎19件、宿泊を伴う預かり18件、病児病後児の預かり10件、その他(早朝・夜間等の緊急時の預かり等)9件となっている。

利用金額は、平日：720～1,200円/時間、22時～翌朝7時までが5,000円/回。

土日祝日：840～1,200円/時間、22時～翌朝7時まで5,000円/回である。

※前日までの申し込み、当日の申し込み、利用時間帯で、金額が異なる。

参  
考

伊賀市においての病児病後児保育(利用定員2名)の利用時は、前日までの電話での申し込みでよく、お勤めいただく看護師・保育士は上野市民病院に委託されていて、非常勤務である。

名張市の場合、当日の利用依頼があつてから所属する看護師・保育士に依頼をすることから、日雇いのようなシステムとなっている為、施設利用方法はもちろん、働く環境も整えていただきたい。

要  
望

他市の同様の事業での料金設定は、市民税非課税世帯や生活保護世帯への助成があるが、名張市においては、一律の金額設定である。その為、親の体調不良や急な仕事の為、子どもを預ける場合、稼ぐ時給と同額又はそれ以上の利用料金がかかり、本来の子どもを預けて働いて稼ぐという図式が成り立たなくなっており、本当に必要な人が必要な時に利用しやすい料金設定を希望する。

# 市民の安心・安全・ 快適な生活を守る為に!!



自然災害から市民の生命や財産を守る為の総合的な防災対策の充実とともに、助け合いや支え合いといった地域コミュニティ機能と高める為に、2013年度より市民参加型の防災訓練を行っている。参加者は、1万5千人程で、更なる地域の自主防災力強化を目指す。今年度は、東南海地震を想定した訓練を予定している。

**Q.** 今春、新たな防災マップ(名張市全地域掲載版)を作成した。その際、企業協賛は何社あり、協力金は幾ら集まったか？

**A.** 16社・48万円(必要経費の半分)の協力をいただいた。7月中には全戸配布を終了する予定。

**Q.** 提携している災害協定等には、何社が関わっているか？ また、協定業者は、防災訓練に参加しているか？

**A.** 現在141社の登録がある。防災訓練には、日程的に参加できないところもある。  
今年の8月には岩手県から、東日本大震災を経験した方を呼んで講演会を開催する予定。

**Q.** 防災マップには、土砂災害警戒区域等が記載されている。現在、市内で指定されているのは、黒田・安部田地域だが、それ以外の地域が土砂災害警戒区域に指定される予定はあるのか？

**A.** 現在、調査中のところがある。調査後、地域住民への説明会が終わり、同意が得られれば、指定される。定期的な情報の更新が必要と考えている。

**要望** ため池ハザードマップの浸水区域と防災マップの土砂災害警戒区域等の範囲は、ほぼ合致している。表示の意味は若干違うが、危険な区域という括りでは、同じだと考える。今後、危険情報を整理し、1つのマップに記載することを要望する。

**Q.** 防災マップ・ため池ハザードマップのおかげで危険予知は出来るが、その危険を除去する為の市としての対策は？

**A.** 現在、ため池の改修工事(砂防えん堤・治山ダム等)は、国・県費事業があるが、市費事業については財政状況により行っていない。

**要望** 危険を少しでも減らして、より住みやすい街にして欲しい。



**Q.** 災害時、市としての食糧等の備蓄はどのくらいあるのか？ 近隣市町村とは大規模災害相互物資援助協定を結んでいるが、どの程度、補うことが出来るのか？

**A.** 市としては、水・α(アルファ)米・毛布等、各地域毎に備えはしているが、全市民を守るだけの量はない。近隣市町村においても、ヘリポート等の活用で支援はいただけるが、全てを補うことは出来ない。

**要望**

公助には限界がある。災害の少ない内陸部の名張市においては、東南海地震等の大規模災害時と同様、**物資の供給が被害の甚大な他の地域の二の次になる可能性が極めて高い**。よって、市民それぞれに、最低1週間程度、飲食できる備えをしておくことの大切さを周知徹底して欲しい。

**Q.** 現在、伊賀南部浄化センターは、平成27年度末より6年間、操業を延長している。延長終了後の名張市内のし尿・浄化槽汚泥の処理については、どう考えているか？

**A.** 伊賀南部浄化センターは昭和60年に建設され、30年以上経過している。地元との協定は、平成17年3月に10年の延長、更に本年3月26日、6年間の再延長の協定いただいた。施設の老朽化と地元との長期間協定を頂いていることから、それ以上の延長は考えていない。現在の協定期間終了後のあり方については、未定であり、今後の汚泥等の発生量を見ながら対応を検討する。

名張市では、国の定める廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃掃法)第6条等に基づき一般廃棄物処理基本計画を作成している。前回、平成20年3月に作成し平成29年度までの計画となっている。将来の処理方針等については今年度内(平成27年度内)に一般廃棄物処理基本計画の生活排水編の再編を行い、その計画に基づき対応したい。

**Q.** その計画(今年度中に再編される)の中で名張市分のし尿・浄化槽汚泥の処理について決めていくという事でいいのか？

**A.** その通りである。

**要望**

名張市の新たな浄化センターの選定、予算、地域の同意について考慮しながら計画を進めていただきたい。

**Q.** 現在、名張環境事業協同組合が収集している名張市・青山地区の収集量(処理量)はどれ程あるのか？

**A.** 平成 26 年度分で、名張市分が 35,908kL、青山地区分が 7,012kL であった。



**Q.** 青山地区の分量は、名張市内の分の 5 分の 1 程度かと思われる。現在、伊賀市で建設が計画されている浄化センターで青山地区の分も処理を行うと聞いている。青山地区の処理が伊賀市に移管された場合でも、このまま名張市の業者が青山地区の収集を行うことは可能か。また、業務が減った場合の補填は考えているか。

**A.** 青山地区の収集許可については伊賀市が許可を出すものである為、先々についても伊賀市の権限である。

## 継続する、まちおこし・まちづくりについて

この春、国のふるさと創生施策の一環として、全国で一斉にプレミアム付商品券の販売に向けての取り組みが始まった。名張市も 8 月実施に向けて取り組み中である。1 枚 1,000 円の 12 枚つづりで、うち 2,000 円は中小店舗のみで使用可能な中小店舗専用券となっている。一般向けとして 17,500 セットを 1 セット 1 万円で販売、子育て世代向けには 6,500 セットを 1 セット 8,000 円で販売する。

**Q.** 今回は、生活支援ということで子育て世代への優遇があったが、その理由は？

**A.** 名張市は、産み育てるにやさしいまちの実現に向けて取り組み中の為、今回のような配分になった。

要望

三重県内の他市では、多子世帯支援・紙おむつクーポン券のような事業もあれば、低所得世帯支援・介護用品商品券・福祉事業所プレミアム商品券等の事業もある。同時期の全国一斉の取り組みである。難しい問題もあるが、他市とも情報交換しながら、細分化するのも、ひとつの方法である。

実際、名張市内の介護認定者数は 2,766 名、要支援者 896 名、障害者 3,280 名、療育障害者 656 名、生活保護を受けているのは 403 世帯ある。多くの方が支援の手を求めていることを念頭に置き、一層の市民サービスに努めて欲しい。

**Q.** プレミアム付商品券は、消費喚起交付金でもある。商品券取扱店の募集の現状は？

**A.** 現在、208 店舗が申し込んでいる(6 月現在)。予定していた 300 店舗数には届かなかったが、登録料は予定通り集まった。

**Q.** プレミアム付商品券の販売申し込みが始まったが、現状は？募集数が満たされなかった時の対処は？

**A.** 申し込み始めて 2 日が経ったところで、834 件の申し込みがあった。このままの推移でいけば、売り切れる予定である。仮に売り切れなかった場合は、再度、販売する予定。

**Q.** プレミアム付商品券の販売は、市役所 1 階で行う予定と聞いているが、商品券の管理については、どのように考えているか？

**A.** まだ、検討中である。

**要望** 商品券というネーミングではあるが、紙幣と同等の価値のある金券であり、しっかりと保管管理していただけるよう希望する。

**Q.** 年も名張川納涼花火大会が開催されます。73 回目を迎え、県下でも有数の花火大会となり、関西圏からも多くの方が訪れます。しかし、2013 年の京都府福知山での花火事故で死者 3 名、負傷者 59 名の犠牲者が出て以来、安全に関わるところで変化はあったか？

**A.** 交通規制をかけ、避難経路を確保し、警備人員も増やして対応。安全面・消防面共に更に強化した。その為、警備費は増加している。

**Q.** 景気の低迷が影響し、協賛金が集まりにくい状況だと聞いている。協賛金集めの工夫又は、経費削減策はあるのか？

**A.** 有料観覧席や桟敷席を設置したり、駐車場使用料を集めたり、募金箱を設置し、資金集めに努めている。

**要望** 年々増える花火見物客の対応、安全対策も厳しくなる昨今、名張の祭り、また観光の一助としても根付いてきた花火大会が、これからも時勢に乗って変化継続することを願う。

# 足立よしえ市政報告会開催のお知らせ

8月 9日(日) 14:00～(開場 13:30) 場所：つつじが丘公民館

8月 29日(土) 10:00～(開場 9:30) 場所：梅ヶ丘市民センター

14:00～(開場 13:30) 場所：すすらん台市民センター

19:00～(開場 18:30) 場所：下比奈知区集会所



第366回定例会における市政報告を皆様に足立よしえ本人からお伝えさせていただきます。名張市の財政状況は、厳しい状態が続いています。新たな独自課税が課せられる、そのような話もお耳に入ってきているのではないのでしょうか。お盆前後の忙しい頃ではありますが、宜しければ、是非、足を運んでいただき、名張市政に対するご意見やご要望を聴かせていただければ、幸いです。



## 子どもの才能をぐんぐん引き出す 『脳の土台の育て方』



進んで勉強をしたがる、スポーツが大好き、友達との関係がうまく築ける、ストレスに負けず、トラブルに強い。このようなことが出来る子どもは、**脳がバランスよく育っている**ことの現れだそうです。

子どもの脳がたくさん情報を柔軟に取り入れてグングン育つ時期に、周りの大人達がきちんと子どもの脳を育てる「大事な刺激」を繰り返し与え続け、基本の脳を作ってしまうと、もう大丈夫。脳の土台ができている子は、勉強でもスポーツでも自分自身でやりたいことを見つけ、どんどん才能を伸ばしていきます。

「大事な刺激」といっても、特別難しいことではありません。

朝起きて赤ちゃんに「おはよう」と話しかける。抱っこしておっぱいをあげる。お母さんが毎日繰り返している育児そのものが実は脳育てです。

五感に重要な刺激を繰り返し与える。「早起きして朝日を目に入れる(視覚)」「昼間はよく遊び(視覚・聴覚・嗅覚・触覚)、よく食べる(味覚)」「夜は電気を消して真っ暗にし

て眠らせる(視覚)」つまり「よく食べ、よく寝て、よく遊ぶ」ことだそうです。そうすることで、「**幸せホルモン**」とよばれる**脳内物質セロトニン**の量が増え、**心が安定する**とのこと。

そして才能を発揮させるのは、ポジティブな言葉(うれしい・ありがとう・さすが等)。ある実験で、嬉しかった思い出話をさせポジティブな言葉を言わせて計算問題を解答した時と、悔しかった思い出話をさせネガティブな言葉を言わせて計算問題を解答した時とでは、ポジティブ思考の時の方が間違いの数(誤答数)が少なかったそうです。

ちなみに前向きな思考脳を育てるには、魔法の言葉があるそうです。それは……。

### 『大丈夫』

大人の「あなたは大丈夫」という輝く笑顔と、朝日の太陽をしっかりと浴びることで、子どもは、すくすく育つそうです。

笑顔あふれる毎日でありますように(^^)



皆様からのご意見、  
ご要望を  
お待ちしております。

足立よしえ

検索

発行：足立よしえ後援会・足立よしえ

住所：名張市つつじが丘北 5-83

メールアドレス：info@adachiyoshie.jp

電話番号：090-7898-9453(足立直通)

：0595-68-3118(FAX 兼用)

ホームページ：http://www.adachiyoshie.jp